

2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 日本語学科(昼間部1.5年制) | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-----------------|---------------------------------------|---------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 作文(中上級) | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 20 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 501教室 |
| 担 当 教 員 | 瀬野 幸子 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 文法や語彙の時間に学習した文型、語彙を用いて、日記、説明文、意見文などさまざまな文が書けるようになる。資格試験に備えて、500字程度で原稿用紙を使った作文にも取り組む。作文を書くことで、文型や語彙などの理解をさらに深めたり、使い方の確認を行ったりする。その後パソコンで入力、教師が添削をする。共通の間違ひについてはクラス全体でチェック、フィードバックする。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』『日本留学試験試験問題』から抜粋生教材「朝日新聞日曜版Beなど | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 毎回、授業内で作文を書き、提出、その後、担当教員から添削を受けた作文をワードで提出する。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 電子辞書を使用してもよいが、できる限り知っている語彙や文型を使い書くこと。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (1) 復習 | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | | |
| | 各コマにおける授業予定 | 原稿用紙の使い、段落で書けるようになる 一体験文-(1) | | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (2) 3段落構成 | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | 課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 3段落で書く(2) 私のふるさと 一事実をわかりやすく書ける一 | | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (3) 3段落構成 | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | 課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 3段落で書く(2) 感動したこと 一指示語を使ってわかりやすく説明できる一 | | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (4) 説明文 | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | 課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 写真や実物を使い、手順を説明できる。 | | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (5) ハガキ・手紙を書く | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | 課題について調べておく、グループワークでの話し合いの際に必要となる。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 礼状が書けるようになる。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|-------------|-------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|--|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (6) 留学試験対策(1)－3段落の意見文が書ける－ | 『日本留学試験試験問題』 | 復習 添削後にリライトをし、その後ワードに <input type="text"/> 入力、提出。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。 | | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (7) 留学試験対策(2)－4段落の意見文が書ける－ | 『日本留学試験試験問題』 | 復習 添削後にリライトをし、その後ワードに <input type="text"/> 入力、提出。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。 | | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | (8) 留学試験対策(3)－4段落の意見文が書ける－ | 『日本留学試験試験問題』 | 復習 添削後にリライトをし、その後ワードに <input type="text"/> 入力、提出。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 短時間で2文を比較し、どちらかを選ぶ日本留学試験の小論文の形式で書く。 | | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (9) メールで文が作れる。 | 『留学生のためのここが大切文章表現のルール(スリーエーネットワーク)』 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 宛名、所属の書き方、挨拶、依頼の表現 | | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | (10) 要約ができる。 | 生教材 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 読解文を読み200字に要約をする。 | | | |